

倫理 授業 No. 1 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

青年期はどのように定義されているか？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書P. 6～8の中から見つけよう！

親に依存した子どもの状態を抜け出し、自分という存在を意識し、自分らしく生きたいという欲求が高まる時期が青年期である。12～13歳の頃から、社会で仕事について経済的に自立しはじめる22～23歳頃までが、青年期であるとされる。この時期には身体が大きく成長して、男性や女性として成熟し(< 1 >)、精神の活動も活発になって、ものごとを自分の視点から考え、判断し、自己主張できるようになる。

フランスの思想家 (2) は、青年期を第二の誕生と呼んでいる。一度目は母胎から生まれる (3) 的な誕生であり、二度目は青年期に (4) にめざめ、自覚的に自分を生きようとしはじめる精神的な誕生である。それはまた、男性・女性としての自分にめざめることでもある。

ドイツの心理学者 (5) は、子どもからおとなへの過渡期にある青年を、マージナルマン(境界人・周辺人)と呼んだ。青年はもはや子どもの集団には属さないが、まだ、おとなの集団にも属さない。一人前のおとなとして認めてほしいと思う反面、おとなになることへの漠然とした不安をいただき、その中途半端さの中で心が落ちつかないことも多い。

< 記入欄 >

1 () 2 () 3 ()
4 () 5 ()

3. 今日のテーマ・アンサー (テーマ・クエスチョンの答) 確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「青年期はどのように定義されているか？」

T. A.

青年期は何歳から何歳までとははっきりと決まっていらないが、身体の第〔①〕次性徴と心の〔②〕が目覚めた時からそれが平衡・成熟するまでとされていて、「第〔③〕の誕生」と呼ばれている。また青年のことを、「〔④〕(マージナル＝マン)」と呼んだりもする。そして近現代や文明社会では、この期間が〔⑤〕なる傾向がある。

< 記入欄 >

① [] ② [] ③ []
④ [] ⑤ []

[] 年 [] H No. [] 氏名 []